

事務事業 No./名称	■サービス部門 経企-05 定額給付金給付事務					タイムスコード及び個別事業名	
	□支援部門					1408	定額給付金給付事務
主管課	定額給付金等支給担当(経営企画課) 関連課						
分野名	行財政運営						
目標 (目標値)	市民への生活支援と地域振興を目的とした定額給付金を給付する。						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考			
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状況	決算値	86,625千円	917千円	20年度の職員配置数は、平成20年4月1日現在配置が基準であり、定額給付金等準備担当は平成21年2月12日設置のため、0としています。			
	(国・県)	86,625千円	917千円				
	(負担金等)						
	(一般財源)						
	人員配置数	5.0人	0.0人				
	人件費	47,107千円					
協働の パートナー							
事務事業 運営経費	総事業費	133,732千円	917千円				
	市民1人当りの経費	757円	5円				
	対象者1人当りの経費						
ベンチマーク (県内外自治体や民間 団体との比較値)	団体名	横浜市	藤沢市	逗子市	茅ヶ崎市	横須賀市	
	世帯数	1,559,152	170,109	23,965	92,436	164,123	
創意・工夫・課題等 改善状況	課題・問題点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 市内全世帯に振込または現金給付にて定額給付金を給付する事務であり、申請書、案内等の書式・手法の決定から、申請状況、給付状況の管理にかかるシステム開発等、定額給付金を正確かつ迅速に給付するための十分な検討が必要であった。また、申請書の発送、給付開始後は、申請書の不備に対する対応や、金融機関との連携、また給付対象者リスト確定後の対象者の追加等にかかる他自治体との連絡調整等に対する的確な判断・対応が必要であった。					
	創意・工夫・課題等の改善点 21年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 給付にかかる事務の正確・迅速な処理については、事務処理マニュアルを整備し、アルバイトや応援職員に対する研修等を実施するなどし、給付開始後のマニュアルの柔軟な運用等により大きな瑕疵なく実施することができた。また事務処理にあたっては、総務省指針等に依拠しつつ、特に給付対象者の追加や受給資格の確認に関しては、関係省庁からの情報収集や他自治体との連携により給付漏れや二重給付がないよう正確な事務処理に努めた結果、問題なく給付することができた。					
	未解決の課題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) なし。					
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) なし。					
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)				
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	市内世帯の約98%にあたる77,236世帯に定額給付金を給付することができた。地域振興という目的から全世帯に給付するという当初目的は、ほぼ達成できたものと思われる。			評価結果	改善の必要性	
E	無				E	無	
課長名		嶋村 豊一			部名・部長名		経営企画部長 瀧澤 由人